

質 疑（代表質問）

発言者 中 村 伸 一

発 言 の 要 旨（その１）	
1	市長の市政運営の総仕上げについて 残された任期でどのように取り組むのか。
2	健康都市について (1) ウォーキングの普及について、これまでの取組の成果と今後の展開 (2) ラジオ体操等の日常生活の中での運動を通じて、身体を動かすことの大切さを伝えていく取組 (3) 貯筋運動などフレイル予防の機会をさらに増やす考え (4) 歩きやすい歩行空間の整備を、どのような方針で進めていくのか。
3	身寄りのない高齢者支援について 頼れる身寄りのない高齢者の日常生活支援に、どのように取り組むのか。
4	離婚前後家庭支援について (1) これまでの離婚前後家庭への支援の総括と、今後の養育費確保支援策 (2) 夜間・休日・多言語対応のために、SNSによる相談対応の導入などにより、利便性を向上させる考え
5	音楽のまちづくりについて (1) 生活に根づいた文化としての本市の音楽についての所見 (2) 音楽のまちづくりのこれまでの取組と、今後の展開
6	子供・若者の防災士育成について 子供・若者の防災士資格の取得を支援し、地域の防災力向上を図る考え
7	被災者支援について (1) トイレカー、キッチンカー、給水車、衛生車、通信車両等の災害支援モバイルユ

発 言 の 要 旨 (その2)

ニットを災害時に迅速動員する仕組みを、関係機関や民間企業と共に構築する考え

(2) 災害対応車両登録制度の有効活用を促進する考え

(3) 重機による支援部隊を編成し、広域的な支援に備える考え

(4) 日照時間を生かした太陽光充電拠点として、移動式蓄電池を多数保管し、停電復

旧までの電力を供給できる、災害対応電源車の被災地派遣に備える考え

(5) 訓練や各種イベント時のトイレカーの出動など、平時・災害時の両面で使える総

合運用方針を策定する考え

8 屋嶋城の歴史活用

飛鳥・藤原の宮都の歴史と連動した、古代山城屋嶋城の歴史的価値を伝える講演会
や学習プログラムを実施するなど、情報発信を充実させる考え